

項目	内容
名称	オウカコウ、クソニンジン、ホソバニンジン [英]Annual Mugwort、Annual Wormwood、Chinese Wormwood、Sweet Wormwood、Sweet Annie [学名]Artemisia annua
概要	<p>オウカコウは、本州から九州、アジアなどに広く分布し、荒地などに多く生育する一年草。全体は大きな円錐状をしており、緑の細かい毛に覆われた鋸歯状の葉を持つ。全草に独特のにおいがあり、葉の形がニンジンに似ているため、クソニンジンとも呼ばれる。生薬名は「オウカコウ (黄花蒿)」。薬理作用のあるアルテミシニンが特に成熟花に含まれる。ヨモギ属のうち、Artemisia annuaだけが相当量のアルテミシニンを含む。伝統的中国医学では、悪寒や熱、マラリアなどの治療に用いられてきたが、日本では帯果・帯花枝葉が「専ら医薬品として使用される成分本質 (原材料)」に該当する。</p>  <p>写真提供：薬用植物資源研究センター</p>
法規・制度	<p>■ 食薬区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 帯果、帯花枝葉：「専ら医薬品として使用される成分本質 (原材料)」に該当する。</li> </ul>
成分の特性・品質	
主な成分・性質	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ オウカコウはセスキテルペンラクトンであるアルテミシニン (artemisinin)、デオキシアルテミシニン (deoxyartemisinin)、quercetagetin、スコポレチン、精油、ビタミンAなどを含む。</li> <li>・ アルテスネート (artesunate) およびアーテメーター (artemether) はアルテミ</li> </ul>

シニン由来の半合成誘導体であり、アルテミシニンおよびデオキシアルテミシニンなどとともアルテミシニン類と呼ばれる ([PMID:18373841](#))。

分析法

・オウカコウ中のアルテミシニンをHPLC (波長289 nm) で分析したという報告がある ([PMID:14993622](#))。

有効性

循環器・呼吸器	調べた文献の中に見当たらない。
消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
ヒト 生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
での 脳・神経・感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
評価 免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
肥満	調べた文献の中に見当たらない。
その他	調べた文献の中に見当たらない。

総合評価

参考文献

- (20) ハーブ大百科 誠文堂新光社 デニ・バウン  
(22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第2版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳  
(29) 牧野和漢薬草大図鑑 北隆館  
(91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS)  
[\(PMID:8134418\) Planta Med. 1994 Feb;60\(1\):54-7.](#)  
[\(PMID:10354615\) Trends Pharmacol Sci. 1999 May;20\(5\):199-205.](#)  
[\(PMID:18373841\) BMC Infect Dis. 2008 Mar 28;8:39.](#)  
[\(PMID:19680221\) MMWR Morb Mortal Wkly Rep. 2009 Aug 14;58\(31\):854-6.](#)  
[\(PMID:23107701\) Food Chem. 2012 Sep 15;134\(2\):864-71.](#)  
[\(PMID:9132599\) N Engl J Med. 1997 May 1;336\(18\):1328.](#)  
[\(PMID:28539725\) Pharmacogn Mag. 2017 Apr-Jun;13\(50\):300-308.](#)  
[\(PMID:31681778\) Front Med \(Lausanne\). 2019 Oct 11;6:221.](#)